

嶺南教育実践フォーラム

～夢と希望あふれる教育の創造と実践への挑戦～

第二次案内（参加者募集）

【基調講演】

2月2日（月）

【研究実践発表・交流】 2月3日（火）・4日（水）・5日（木）

※ふるプロは1月30日（金）に行います。詳細や申込みについては別途通知します。



R7開催テーマ

そもそも、学校ってー ～得意を見つけ、伸ばす場として～

「そもそも学校ってー」

学校で私たちが「本当に大切にしたいこと」「欠かせないもの」とは何なのだろう。

学校が「一人一人が『わたし』として認められる場」

「子どもが、教師が、得意を見つけ、伸ばし、生かしていく場」

「一人で、仲間と、新たな創造を生む場」になるには、何が必要なのだろう？

一緒に考えてみませんか？

【基調講演】「色とりどりの学校に」



学校DE&Iコンサルタント/Demo代表

武田 緑 氏

プロフィール

大阪生まれ。学校で受けてきた人権・同和教育への共感&違和感を原点に「学校におけるDE&I（多様性・公正・包摶）」をテーマに研修、執筆、学校現場支援等、様々な活動に従事している。

主な著書

「読んで旅する、日本と世界の色とりどりの教育」（教育開発研究所 2021）

「部落の私たちがリモートで好き勝手しゃべってみた」（共著 解放出版社 2022）

「これくらいできないと困るのはきみだよ？」（共著 東洋館出版社 2024）



フォーラムには先生や子どもたちが 主体的に学ぶためのヒントがたくさんあります！

テーマ
A

学ぶ喜びを知り、自ら進んで学ぶ意欲と力の育成 <ステージ 1～3>
知的好奇心や探究心を喚起し、一人一人の能力や特性に応じた学びの提供
について考える
○各教科の学習指導・道徳教育・ICT教育 など

テーマ
B

誰もが安心して学べる教育環境づくり <ステージ 全>
主体性を大切にし、個性を最大限に伸ばすことができる環境づくりについて
考える
○生徒指導・教育相談・集団作り・特別支援教育 など

テーマ
C

ふるさとを愛する心と社会に貢献する志の育成 <ステージ 全>
ふるさとへの理解を深め、愛着をもち、継承発展しようとする心の育成について
考える
○ふるさと学習・探究学習・特別活動 など

テーマ
D

新たな時代を見据えた教育環境づくり <ステージ 全>
夢や希望を実現し、地域の担い手として活躍できる人を育む学校づくりについて
考える
○学校づくり・校内研修・学校間連携 など



<福井県教員育成指標>
第1ステージ
教員としての基盤を固める
第2ステージ
中堅教員・ミドルリーダーとして教育活動を牽引する
第3ステージ
経験を生かして指導・助言し、組織的な運営をする
管理職
トップリーダーとして教育活動を推進する

セット受講が
オススメです！

同じテーマのセッションに複数参加してそのテーマの学びを深めたり、テーマの違うものに参加して視点を広げたり、基調講演での気づきや学びをもとにセッションに臨んだり…。いろいろな形で学びをデザインしてください。

個別最適な学びの
スタイルで！

対面、オンライン、オンデマンドといろいろな形態のセッションがあります。また、話は聞きたいけれど、話すのは苦手…そんな方は「耳だけ参加」も可能です。学校全体で同じ講演やセッションを聞いて語り合ったり、違うセッションにて学びを交流したり、各校での「協働的な学び」もおすすめです。

振り返りの場として
活用を！

「子どもたちの目が輝く授業になるにはこの課題でいいかなあ?」「つながり合う学級にするにはどうしたらいい?」「学校を子ども達が安心して過ごせる場にするには?」先生方の日々の実践はまさに探究そのもの。学び合い、語り合うフォーラムの場を自身の実践の振り返りの場としてご活用ください。

R6 参加者の声

- ・教育現場で働く先生方のお話を聞いて、実習時に抱えていた不安が解消され、教員になることに対してさらに前向きな気持ちになれました。(大学生)
- ・生徒の「学びを追求する姿」について他校の先生方の様々な考え方につれて触れることができ、今後の授業研究の参考となるお話を聞くことができ、自分自身の学びにつながりました。(中 20代)
- ・講演を聞いて、自分の中にしみついている考え方を根底から変えていきたいと思いました。自分の中の「頼られる先生像」に自己満足を覚えていたように思いました。(中 30代)
- ・多くの学校の実践を知ることができ、学びの多い時間でした。(小 40代)
- ・大学生の経験や現在の思いを聞いたり、先生方との意見交流をして自分自身のこれまでの指導やこれまでの在り方、教職という仕事のやりがいと責任を考えることができました。(小 50代)
- ・充実した発表内容と参加者の対話で深められる研修形態でとても勉強になりました。(小 管理職)



タイムテーブル

2月2日（月）		2月3日（火）			2月4日（水）		2月5日（木）		
1研	2研	1研	2研	3研	1研	2研	1研	2研	3研
13:30		13:30			13:30		13:30		
13:40		13:40			13:40		13:40		
13:50		13:50			13:50		13:50		
14:00	受付	14:00	受付	受付	14:00	受付	14:00	受付	受付
14:10		14:10			14:10		14:10		
14:20	開会あいさつ	14:20	受付	【D-1】14:10～14:50 美浜中央小、三方小、 佐分利小、高浜中 研究員 太田 翠	【B-1】14:10～14:50 嶺南教育事務所 研究員 吉田 文瑠	14:20	【A-3】13:50～14:50 小浜美郷小学校 教諭 大下 芳徳	14:20	【A-4】14:10～14:50 嶺南教育事務所 研究員 吉田 文瑠
14:30	諸連絡	14:30	【A-1】14:30～15:10 嶺南教育事務所 研究員 高橋 知明	【若手支援】 若手教員お悩み相談～ 授業名人に聞いてみよ う～	【生徒指導（ポジティブ 教育）】 子ども内の内側から育てる レジリエンス	14:30	【B-2】14:30～15:10 Let's challenge and enjoy English together! ～英語専科6年間の取 組から見えて来たもの～ 問どうぶつ発問の実践～	14:30	【A-5】14:30～15:10 嶺南教育事務所 研究員 東條 麻衣子
14:40		14:40	【A-2】14:30～15:10 小学校算数 自分で考えようとする子 を育てる算数授業 ～カード実践を通して～		14:40	14:40	【C-1】15:30～16:30 内外海小学校 教諭 栗原 祐子	14:40	【A-6】15:30～16:30 和田小学校 教諭 今川 菜生
14:50		14:50			14:50	14:50	【C-2】15:30～16:30 国立若狭湾青少年自然 の家 主幹兼事業推進係長 石山 浩幸	14:50	【A-7】15:50～16:30 小浜小学校 教諭 服部 真也 教諭 川嶋 一晃
15:00		15:00			15:00	15:00	15:00	15:00	15:00
15:10		15:10			15:10				
15:20		15:20	受付	受付	15:20	受付	受付	受付	受付
15:30	【KS】14:20～16:30 <基調講演> 色とりどりの学校に	15:30	【B-2】15:30～16:30 嶺南教育事務所 特別支援教育課 指導主事 河端 稔	【C-1】15:30～16:30 内外海小学校 教諭 栗原 祐子	【D-2】15:30～16:30 国立若狭湾青少年自然 の家 主幹兼事業推進係長 石山 浩幸	【E-1】15:30～16:30 和田小学校 教諭 今川 菜生	【F-1】15:30～16:30 <子ども主体の授業> 思考がつながる子ども たちがつながる授業づ く 【G-1】15:30～16:30 <子ども主体の授業> 思考がつながる子ども たちがつながる授業づ く 【H-1】15:30～16:30 <子ども主体の授業> 思考がつながる子ども たちがつながる授業づ く	【I-1】15:30～16:30 小浜小学校 教諭 服部 真也 教諭 川嶋 一晃	【J-1】15:30～16:30 <授業改善> 読み解力向上を目指した 3S学習と授業DXによる 国語科授業改善の取組
15:40	受付	15:40			15:40				
15:50		15:50	【A-2】15:50～16:30 嶺南教育事務所 研究員 平井 一輝	【A-3】15:50～16:30 <特別支援教育> 高等学校の「通級による 指導」から見えてきたこ と ～児童生徒の自立と社 会参加に向けた自立活 動の在り方にについて～	15:50	15:50	15:50	15:50	15:50
16:00		16:00			16:00	16:00	16:00	16:00	16:00
16:10	子どもが学びの舵をとる 算数授業	16:10			16:10	16:10	16:10	16:10	16:10
16:20		16:20			16:20				
16:30		16:30			16:30				

◆2月2日(月)オンライン

コード	時間	テーマと概要
KS	14:20 ～ 16:30	<p>基調講演 色とりどりの学校に</p> <p>学校DE&Iコンサルタント/Demo代表 武田 緑 氏</p> <p>近年、DE&I(多様性・公正・包摶)という言葉が多く見聞きされるようになってきました。学校を取り巻く現状や求められるものが目まぐるしく変化する現代社会で、教職員が大切にしていくものは何か、武田先生の豊富で多領域にわたるご経験からご示唆をいただき、これまでの学校の「ふつう」や「あたりまえ」を見つめ直しませんか。そして学校DE&Iや民主的でインクルーシブな学校教育が必要とされている現状を知り、参加者一人一人が学校の多様な在り方について考えてみませんか。今、学校はどうあるとよいか、学校はどんな存在であるとよいか、この基調講演を今年度のテーマである「そもそも、学校ってー」について、立ち止まって自身を振り返り考えるためのきっかけとし、それぞれのよりよい教育、生き方の実現につなげるための一歩にしていきましょう。</p>

◆2月3日(火)オンライン

D-1	14:10 ～ 14:50	<p>若手支援 若手教員お悩み相談～授業名人に聞いてみよう～ <トークゲスト></p> <p>美浜町立美浜中央小学校 教諭 平城 慶彦 若狭町立三方小学校 教諭 橋本 真紀 おおい町立佐分利小学校 教諭 古津 由香 高浜町立高浜中学校 教諭 湯浅 宏則</p> <p>若手教員の多くは、仕事に慣れない中、日々の業務をこなすことで精いっぱいの毎日です。若手教員研修の際に日頃の悩みについてアンケートを取ったところ、そこには学習指導や生徒指導の面で多くの悩みが寄せられました。これらの悩みに対して、授業名人の4名が自身の実践や教員生活での経験をもとに意見交流を行います。若手教員にとって、悩みの解決につながる心強いヒントが得られる機会となることを目指します。若手の先生方はもちろん、若手を支える先生方もぜひご参加いただき、悩みを話し合える職員室づくりに繋げませんか？</p> <p>【主なトークテーマ】「子どもの学力差への対応」「特別な支援が必要な子どもへの対応」</p>
		<p>生徒指導(ポジティブ教育) 子どもの内側から育てるレジリエンス</p> <p>嶺南教育事務所 研究員 太田 翠</p> <p>レジリエンスは、失敗を恐れて受け身になりがちな子どもたちにとって前に進むための大切な力です。けれども、この力は言葉で教えて身につくものではありません。本研究では、レジリエンスを自律的に発揮するための手がかりとなる5つのアイテムを考案しました。これらのアイテムを意識しながら生活することで、子どもたちは自分自身と向き合い、自分の思いや行動を言葉にして前向きに考えられるようになっていきました。実践を通して見えてきたその姿をもとに、子どものレジリエンスを育てるためのかかわり方について、みなさんと一緒に考えていきたいと思います。</p>
A-1	14:30 ～ 15:10	<p>小学校算数 自分で考えようとする子を育てる算数授業～カード実践を通して～</p> <p>嶺南教育事務所 研究員 高橋 知明</p> <p>算数の問題に向き合うときに、どうしたらよいか分からなくて困っている子どもたちはいませんか。そんな子どもたちが自分で問題を解こうとする姿を目指して、カードを活用する実践に取り組みました。カードには、問題を解く時に大切なことを子どもたち一人一人が自分の言葉や表現でかいていきます。カードを頼りに問題解決に取り組んだ子どもたちの姿から見えてきたことをお伝えします。「自分で考える力」を育てる授業づくりについて、ぜひ一緒に探ってみませんか？</p>
		<p>特別支援教育 高等学校の「通級による指導」から見えてきたこと ～児童生徒の自立と社会参加に向けた自立活動の在り方について～</p> <p>嶺南教育事務所 特別支援教育課 指導主事 河端 稔</p> <p>高等学校での通級による指導を通して見えてきた生徒の学習面・心理面・進路面での成果や課題を嶺南西特別支援学校にもご協力いただき、情報提供します。グループ協議では、小中学校段階でどのような自立活動を大切にすべきか、また移行支援をどのようにしていくとよいかなどについて話し合います。自己理解、自分に合った学習方法、対人関係のスキル、合理的配慮の継続など、切れ目ない支援のために必要な視点を整理し、小中学校での指導・支援に生かせるヒントを一緒に考えましょう。</p>
B-2	15:30 ～ 16:30	

C-1	15:30 ～ 16:30	ふるさと学習 ふるさとの海を生かし、地域の人とつながる ふるさと学習 小浜市立内外海小学校 教諭 栗原 晃子
		子どもたちの身近にある海、その海をきっかけとした人の出会い、海からの学びをきっかけとして子どもたちがふるさとのために活動した歩みを発表します。
A-2 	15:50 ～ 16:30	小学校算数 子どもが学びの舵をとる算数授業 嶺南教育事務所 研究員 平井 一輝
		「自由進度学習って聞いたことはあるけど、どんな学習法だろう?何のためにやるの?どのようにやるの?」など興味を持たれたことはありませんか?今年度の研究では「自由進度学習」のメリットとデメリットを考慮しつつ、子ども一人ひとりが当事者意識を働かせ、学び進めていけるような算数の「面積」の単元をデザインしました。子どもに学びを委ねる割合を増やした実践のリアルをお伝えします。子どもが主役の教育について、共に語り合いましょう。

◆2月4日(水)－オンライン－

コード	時間	テーマと概要
CS	15:00 ～ 16:30	教育実践クロスセッション 語りの広場 子ども達に向き合い、教育に向き合う先生方の日々は試行錯誤の連続で、まさに探究そのものです。数名のグループで語り合い、認め合い、共に刺激し合いながら、協働探究する場を設けました。ちょっとしたチャレンジ、力を入れて取り組んだ単元、日頃考えていることや悩み、などどんなことでも構いません。学校を超えて、地域を超えて、校種を超えて語り合い、明日への一步を見つけてみませんか? ※詳しくはチラシをご覧ください。 参加申し込みはチラシまたは右の二次元コードからお願いします。

◆2月5日(木)－集合・オンライン－

コード	時間	テーマと概要
A-3 (集合)	13:50 ～ 14:50	小学校外国語 Let's challenge and enjoy English together!! ～英語専科6年間の取組から見えて来たもの～ 小浜市立小浜美郷小学校 教諭(英語専科) 大下 芳徳 今年度から小浜市教委を中心に導入し、市内各校で研究実践を積み重ねている「音素体操」を基本とした“アレンメソッド”的定着に向けての取組と「P4C(子どものための哲学)」の英語授業での“活用”へ向けての挑戦の成果と課題を紹介し、あわせて「海外との交流」のもたらす“(英語)教育的効果”について、実例をもとに検証し今後の英語教育への活用の仕方を探ります。
A-4 	14:10 ～ 14:50	小学校国語 当事者意識を働かせる国語科授業～Which型発問とゆさぶり発問の実践～ 嶺南教育事務所 研究員 吉田 丈瑠 国語科授業において、学習に受け身な子どもたちが当事者意識を働かせて課題に向き合い、思考を広げたり深めたりするにはどうしたらよいのでしょうか。本研究では、子どもが選択・判断する「Which型発問」を導入し、すべての子どもたちが学習に参加できるようにしました。さらに、思考や認識を搖さぶる「ゆさぶり発問」で子どもの思考を広げたり、深めたりできるようにしました。子どもの学びの姿から考察したことをお伝えします。先生方と発問や日頃の悩みなどを考え合う場になればと思っています。
A-5 	14:30 ～ 15:10	小中学校道徳 Which型発問×3観点の問い合わせによる道徳授業～道徳心層マップで価値の深層に迫る～ 嶺南教育事務所 研究員 東條 麻衣子 「答えがひとつではない」と言われる道徳科。しかし、それは「何でもOK」ということではないはずです。みんなで考え、話し合うことで、それぞれの現在地から価値の深層に迫る——そんな道徳科を目指しました。予想される多様な考えを、価値の深層に向かう6段階に整理するツールとして「道徳心層マップ」を作成し、これをもとに子どもが自ら選択・判断する「Which型発問」をつくりました。さらに、人間理解・他者理解・価値理解を深める「3観点の問い合わせ」を精選する時にも活用しました。授業づくりの実際や子どもたちと教師のやり取りの様子をお伝えします。みなさんと悩みを共有しながら、道徳科について一緒に考える時間になればと思います。

D-2 (集合)	15:30 ～ 16:30	組織づくり 「チームビルディング研修」の取組から～教室にアドベンチャーを!～ 国立若狭湾青少年自然の家 主幹兼事業推進係長 石山 浩幸
		挑戦、達成感といった耳慣れた言葉の本質を感覚的に理解できる、体験型の教育プログラムです。参加者のみなさんには、アクティビティを体験しながら、自身の自己有用感や、チームの一体感などの高まりを実際に感じてもらえたたらと思います。子どもたちの人間関係づくりや、部活でのチームワーク向上など、学校現場で使えるネタがいっぱいです。ぜひご参加ください。 ※動きやすい格好でご参加ください。
A-6	15:30 ～ 16:30	子ども主体の授業 思考がつながり 子どもたちがつながる授業づくり 高浜町立和田小学校 教諭 今川 菜生
		「思考がつながり 子どもたちがつながる授業づくり」を目指し、各教科において、子どもたちの「問い合わせ」「自己選択・自己決定できる場」「振り返り」を大切にする授業づくりに取り組んできました。子どもたちが自ら「問い合わせ」をもち、その解決に向かって学習計画を立てるという授業スタイルを取り入れ、繰り返し行うことで、少しづつ自分達で学んでいるという実感をもって学習するようになってきたと思います。子どもたちの学びの姿をもとに、実践したことや考えたことを発表します。子ども主体の授業づくりについて、共に語り合いましょう。
A-7	15:50 ～ 16:30	授業改善 読解力向上を目指した3S学習と授業DXによる国語科授業改善の取組 小浜市立小浜小学校 教諭 服部 真也 川嶋 一晃
		本校の課題である国語科の読解力向上を目指し、3S学習・授業DXの両輪から、言葉を的確に読み取り、内容を理解・解釈し、自分の考えを形成・表現する力の育成に向けた国語科の授業改善に向けての取組について発表します。その際、ベネッセ社の「総合学力調査(国語)」をどのように活用して授業改善にいかしたのか、また、今年度は、国のリーディングDX事業の指定を拝命したことから、授業DXの観点に立ち、読解力を育成するための効果的なICT活用を通して、個別最適かつ協働的な学びをどのように実現していったのかについて発表します。

◆オンデマンド・紙面発表

期間中いつでも、パスワードなしでご覧いただけます。

コード	テーマと概要
C-2	自然体験 里山里海湖の学校教育プログラム・講師派遣のお知らせ <オンデマンド> 福井県里山里海湖研究所 主任 吉田 英雄 「ふるさと研究員講師派遣」や「出前講座」などの学校教育プログラムについて紹介します。
C-3	自然環境 ふるさと福井の宝「水月湖年縞」と年縞博物館 <オンデマンド> 福井県年縞博物館 主任 北川 淳子 福井県の宝である「水月湖年縞」の概要を解説するとともに教育旅行や校外学習などの教育活動で活用できる年縞博物館について説明します。
C-4	自然体験 びわこのすべてを感じるミュージアム <オンデマンド> 滋賀県立琵琶湖博物館 滋賀県立琵琶湖博物館の概要を解説するとともに教育旅行や校外学習などの教育活動で活用できる琵琶湖博物館について説明します。
C-5	自然体験 自然体験活動を通した環境教育プログラムの実践 <紙面発表> 国立若狭湾青少年自然の家 企画指導専門職 小林 祥之 特徴的な若狭湾の立地を生かした自然体験活動を通して、青少年の成長の変化を評価した実践研究の結果の一部と、その結果を鑑みて開発した環境教育プログラムを紹介します。実践研究結果は令和5年度に実施した教育事業より、事業前後で描いた「海」の絵やワークシートの記述等を分析しました。また、環境教育プログラムは、若狭湾にある森・沢・海のフィールドで五感を使いながら、グループで協力し、海と森のつながりや自然への関心を高めるプログラムです。

【申込みについて】 申込締切:令和8年1月20日(火)17:00

フォームによる申込み

1

下記URLまたは二次元コードから「参加申込フォーム」にアクセス。



2

画面の案内に従って必要事項を記入し、送信。



3

後日、参加案内メールが届く。

<注意事項>

- 必ず管理職の許可を得てからお申込みください。参加者については、各校での把握をお願いします。
- オンラインセッションは原則一人一台端末での参加をお願いします。
- 一台の端末で複数名参加する場合も、参加する方全員の申込みをお願いします。その際は、申込フォームの例に従って備考欄に記入をお願いします。
- 「耳だけ参加」を希望される場合も、申込フォームの例に従って備考欄に記入をお願いします。
- 2月4日(水)開催のCS:「語りの広場」に参加される方は、左の申込フォームではなくチラシの二次元コードよりお申込みください。

<申込みの変更等について>

- 申込み手続き終了後に変更のある場合は、研修課まで電話で連絡をお願いします。
- 欠席の場合の欠席届の提出は必要ありません。
- フォーラム終了後、参加された方の研修履歴を全国教員研修プラットホーム「Plant」にアップします。
(県内の職員番号のある教職員の方のみ)

【参加について】

<参加に必要な情報について>

申込み時にお知らせいただいたメールアドレスに以下のものを通知します。

1/27(火)までに届かない場合は担当までご連絡ください。

- 各セッション等への参加に必要なID、パスコード
- 発表資料等のダウンロードに必要なパスワード
- 事後アンケートのURL

受講確認に必要ですので、
表示名の確認をお願いします。

<受付時間と接続時の表示名について>

受付時間…セッションの20分前から

表示名…1人1台で参加される場合

1台の端末で複数名の方が参加される場合

所属_氏名

所属_〇名

※参加中の録画・録音・撮影はご遠慮ください。

※本フォーラムに関する個人情報、ID、パスコード、資料等の取り扱いには十分ご配慮ください。

【各セッションで使用する資料等について】

- ・嶺南教育事務所HPよりダウンロードしてください。ダウンロードに必要なパスワードは、メールにてお知らせします。
- ・各資料は準備ができたものから随時アップしますので、ご了承ください。
- ・各資料は参加されないセッションのものもダウンロードすることができます。
- ・フォーラム終了後もしばらくダウンロード可能です。学びを広げるためにご活用ください。

ダウンロード期間:1/23(金)~3/13(金)



<事前視聴について>



プログラムにこのマークがあるものについては、事前に発表動画を視聴していただき、その内容をもとに当日の意見交流、情報交換を行うセッションです。動画視聴後、質問や感想を事前に送っていただけますとよりよいセッションにつながりますので、ご協力をお願いいたします。

【その他】

<オンデマンド配信(C2~C4)・紙面発表(C5)について>

以下のものについては、期間中(2/2~3/13)、嶺南教育事務所HPから、どなたでもご覧いただけます。

- C2:里山里海湖研究所
- C3:福井県年縞博物館
- C4:滋賀県立琵琶湖博物館
- C5:国立若狭湾青少年自然の家

<接続について>

使用的する端末のOSとZoomアプリを最新の状態に更新しておくなど、使用機器の準備、調整をお願いします。

<事後アンケートについて>

事前にメールで送付されたURL、またはセッション終了後に表示される二次元コードから事後アンケートをお願いします。

1台の端末で複数名が参加された場合も、参加された方全員の回答をお願いします。

※ご不明な点がありましたら、研修課までお問い合わせください。



【担当】 福井県教育庁嶺南教育事務所 研修課 倉谷 智子
〒917-0241 小浜市遠敷2丁目205 TEL 0770-56-1302
FAX 0770-56-1391 E-mail t-kuratani-dz@pref.fukui.lg.jp

語りの広場

教育実践クロスセッション in 嶺南



語り合い、認め合い、刺激し合って、
共に伸ばそう”教師力”！

日時：令和8年2月4日（水）15:00～16:30

開催方法：

- ①数名のグループによるクロスセッション（オンライン）
※申し込み状況に応じて、テーマのジャンルが混在することがあります。
ご了承ください。
- ②1人あたり 実践発表（10分程度）
実践に関する意見交流（20分程度）

発表内容：

今年度チャレンジしたことや考えたこと、悩みなど、内容は自由。

- 例) ・小6国語「やまなし」の授業実践について（授業づくり）
- ・クラスの係活動を子ども主体で！（集団づくり）
- ・公民館とともに進めるふるさと学習の取り組み（探究）
- ・教科担任制にチャレンジ（マネジメント）など

発表方法：どんな方法でもOK！

- ・簡単なハンドアウトを共有して
- ・数枚の写真を提示して
- ・口頭のみ など

語ること、聴き合うことを通して自分の頑張りに気付く、次も頑張ろうと思える、そんな素敵な協働の時間にしたいです。
ぜひご参加ください！

＜申込みについて＞

※参加申込みは右の二次元コードよりお願いします。管理職に相談の上、お申込みください。

※参加申込みには、勤務校・氏名・実践発表したいジャンル・テーマ（簡単に）について記入してください。

※当日はZoomのブレイクアウト機能を使ってのクロスセッションとなります。
実践発表される方は1人1台端末でご参加ください。

申込締め切り：1月20日（火）